

様式第4号（第7条関係）

パブリックコメント募集案件概要書

【案件名：第3次つくば市観光基本計画(案)】

つくば市 経済部 観光推進課

○ 計画等を必要とする背景・提案に至るまでの経緯

平成24年（2012年）6月に「つくば市観光基本計画」を策定して以降、平成29年（2017年）3月に「第2次つくば市観光基本計画」を策定し、5年ごとに必要となる観光振興の施策を見直しております。

これまでの取組や社会情勢の変化を踏まえ、地域経済の活性化及び交流人口の創出を市民とともに創りあげることがを目的に、「第3次つくば市観光基本計画」を策定します。

○ 他の自治体の類似する計画等の事例

水戸市観光基本計画（第3次）、第2次土浦市観光基本計画 等

○ 未来構想における根拠又は位置付け

本計画は、「つくば市未来構想」の「魅力をみんなで創るまち」に位置付け、「つながりを力に未来をつくる」というまちづくりの理念のもと、体験型の観光や観光イベントを実施・支援することで、年間を通して国内外から観光客を呼び込みます。

○ 関係法令、条例等

観光立国推進基本法 等

○ 計画等の実施により予測される影響及び効果(算出できるものはコストを含む。)

つくば市の観光基本計画を策定し、本計画に基づき施策を実施していくことで、つくば市の観光の振興を図り、国内外からの市内への周遊を促進することで、地域の経済活性化に寄与することができます。

# 第3次つくば市観光基本計画の概要

## 計画の基本的な考え

### 【策定の背景と目的】

「第1次つくば市観光基本計画」から始まった、つくば市のこれまでの取組を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の流行等の様々な社会情勢の変化に対応した持続可能な観光地域として、これからの観光の未来につなげる

### 【本計画の位置づけ】

平成27年(2015年)3月策定(令和2年(2020年)3月改定)の「つくば市未来構想」及び令和2年(2020年)3月策定の「第2期つくば市戦略プラン」の部門別計画(観光分野)として、今後の観光施策の基本方針を示すもの。

### 【SDGsの取組】

「8働きがいも経済成長も」を軸に、市民が主役となる持続可能な観光地域づくりを推進する。

### 【本計画の期間】

令和4年度(2022年度)から令和8年度(2026年度)までの5年間

## 第2次計画期間における主な課題

- (1)観光地としての認知不足
  - ・市民が自らの地域のことを知るきっかけをつくり、認知度の向上による新たな需要創出が必要 等
- (2)観光資源の魅力の向上が不十分
  - ・つくばらしい体験の提供など、他の観光地との差別化による選ばれる観光地を目指す取組や、市内の観光資源の有効活用や磨き上げが必要 等
- (3)観光資源間の周遊性が不十分
  - ・地域が一丸となった観光資源間の連携、ネットワーク化の推進や、市域をまたぐ広域連携に向けた積極的な連携、取組が重要 等
- (4)持続可能な観光地づくりの視点が不十分
  - ・ビッグデータや各種数値データを活用した、データマーケティングを意識した観光施策の振興や、年間を通して天候に左右されずに楽しめる観光地域づくりが必要 等

## 基本理念

つくばと“つながる” つくばが“つながる”  
-つくばの自然・科学・歴史・文化で人と地域と世界をつなぐ-

## 基本方針に基づく主な施策

<p>1 観光客とつくばが“つながる” -つながる・役立つ・広がる情報発信-</p> <p>(1)つながる情報発信 ・ICT技術等を活用した情報発信 等</p> <p>(2)役立つ情報発信 ・観光客層ごとの目的や嗜好などのニーズに合った情報を提供できる仕組みづくり 等</p> <p>(3)広がる情報発信 ・SNSにおける即時性、拡散性を活用した情報発信 ・誰もが共有できる魅力的な写真・動画のオープンデータ化 等</p>	<p>2 伝えたい資源を観光に“つなげる” -観光資源の強みをいかした更なる誘客促進-</p> <p>(1)つくばの“強み”の磨き上げ ・つくば市独自の観光コンテンツづくりの一層の推進 等</p> <p>(2)つくばらしい体験の提供 ・特色である「科学」や「学び」をテーマとした体験の提供の推進による選ばれる観光地づくり 等</p> <p>(3)つくばならではの「特産品の振興」 ・つくば市の特産品をいかした魅力の創出・拡充 等</p> <p>(4)世界の英知がつくばで“つながる” MICE誘致・アフターコンベンションの充実 ・アフターコンベンションやMICE開催支援の充実による、積極的なMICE誘致 等</p>
<p>3 地域と“つながる”-周遊観光の促進-</p> <p>(1)市内周遊観光の推進 ・市内全域での周遊観光の推進 等</p> <p>(2)広域周遊観光の推進 ・多様な文化、人との“つながり”のある、広域周遊観光の推進 等</p> <p>(3)交通インフラとの連携強化 ・周遊観光する観光客の満足度や利便性の向上のための、交通インフラとの連携強化 等</p> <p>(4)筑波山地域ジオパークとの連携 ・筑波山周辺地域と連携した、筑波山地域ジオパークの魅力の発信や受入れ態勢の強化 等</p> <p>(5)訪日外国人旅行者の誘客促進 ・受入環境整備の拡充や訪日外国人旅行者が魅力的に感じるコンテンツづくり 等</p>	<p>4 未来に“つなげる” -持続可能な観光地域づくりの構築-</p> <p>(1)自然・環境・歴史・文化の保全 ・筑波山の自然、環境、歴史、文化の保全 等</p> <p>(2)観光マーケティングの振興 ・社会経済データの収集、分析、効果検証による、自立した経済活動を促す観光施策の推進 等</p> <p>(3)こころあたたまるおもてなしの醸成 ・関係機関などとの連携強化による、こころあたたまるおもてなしを提供できる体制づくり 等</p> <p>(4)観光客の満足度向上(安全・安心な観光の推進) ・観光案内機能や二次交通の充実、筑波山麓地域におけるユニバーサルデザインを取り入れた観光施設の充実 等</p> <p>(5)筑波山の交通渋滞・登山道混雑の緩和 ・関係機関が一体となった渋滞、混雑の緩和対策 等</p>